

企業版ふるさと納税とは？

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対し企業が寄附を行った場合に、通常の損金算入措置に加え、寄附額の6割に相当する額の税額控除の特例措置がなされ、寄附額の約9割に相当する額が軽減されます。

湖南省では、この制度を活用して企業の皆さんからの寄附を募り、「湖南省きらめき・ときめき・元気創生総合戦略」に掲げる取組の更なる推進を図っていきたいと考えています。

企業様のメリット

人材育成

企業の人材育成として連携。若者と一緒にまちづくりを考え地域のニーズをキャッチできます。

社会貢献

企業として地方創生を支援・SDGs達成に向けて取り組む社会貢献ができます！

PR効果

市のホームページなどで寄附企業様を広くお知らせします！※非公表も可

新事業展開

湖南省と連携し、地域資源を活かした新たな事業の展開が期待できます！

税制上の優遇措置

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）を利用してご寄附いただいた場合、通常の損金算入措置に加え、寄附額の6割に相当する額の税額控除の特例措置がなされ、**寄附額の約9割に相当する額が軽減されます。**

軽減効果
最大約
9割！

損金算入による軽減効果	法人住民税+法人税	法人事業税	企業負担
約 3割	4割	2割	約 1割

※上記は令和9年度までの措置です。また、控除が最大となった場合です。

寄附の流れ

1



寄附を行う事業や寄附額について市へご相談いただいた後、寄附申出書を市へ提出します。

2



市からの連絡後、企業から市へ寄附金を納付します。（※寄附金の総額は事業費の範囲内となります。）

3



市から寄附に対して受領証を交付しますので、税控除に関する申告にお使いください。

ご注意いただきたい事項

- ・湖南省に本社が所在する企業からの寄附については、制度の対象となりません。
- ・1回あたり10万円以上の寄附が対象となります。
- ・本制度の対象期間は令和2年度から令和9年度までです。
- ・寄附を行うことの代償として、経済的な利益を受けることは禁止されています。

制度の詳細は、内閣府地方創生推進事務局「企業版ふるさと納税ポータルサイト」をご覧ください。



市長からのメッセージ

湖南省では「ずっとここに暮らしたい！みんなで創ろう きらめき湖南」を実現するため、湖南省の誇れる地域資源を活かした事業を行うだけでなく、SDGsの理念に基づき、誰一人取り残すことないまちづくりに取り組んでいます。企業版ふるさと納税を通して当市の魅力を知っていただくとともに、企業の力を地域の力にして、「湖南省きらめき・ときめき・元気創生総合戦略」に掲げる取組の更なる推進を図るため、企業の皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



滋賀県湖南省
企業版
ふるさと納税
のご案内



湖南省の人材育成の
パートナーになりませんか？

企業の力を、
地域の力に。

「若者のまちづくり」にご支援ください！

【お問合せ先】 総合政策部 地域創生推進課

〒520-3288 滋賀県湖南省中央一丁目1番地 TEL：0748-71-2316 FAX：0748-72-2000



湖南省は

SDGs未来都市

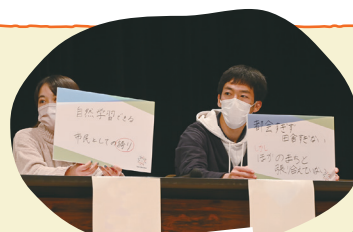
に選定されています！

SDGs×

若者主体のまちづくり

湖南省では若者ならではの新しい価値観や行動力により、自らが描く湖南省の未来の実現に向け、地域及び産官学等様々な主体と連携し、学びを深め、SDGsの視点により本市が抱える課題解決への活動及び提言を行い、持続可能なまちづくりを進める若者の活動を応援しています！

まちづくり活動を積極的に行う若者に、「グローバルな視点を持ちながら、ローカルな湖南省を舞台に新しい価値を創造するひと」として、こなんSDGsカレッジグローバルリスト認定証を交付しています。



参加者は市内外を問わない主体性を持った学生です。同志社大学政策学部と連携協定を締結しており、レベルの高いディスカッションが実現します。

今後の活動計画

- ・2022年 ▶ 若者主体のカレッジ運営ができる人材の育成、サマーキャンプの実施
- ・2023年 ▶ 若者の留学支援、学びのフィードバック

※こなんSDGsカレッジは海外で活躍する学生が主体となる「特定非営利活動法人グローバルな学びのコミュニティ・留学フェローシップ」が伴走しています。

詳しい活動実績はこちら！



SDGsの理念に沿った基本的・総合的取り組みを推進しようとする都市・地域の中から、特に、「経済」・「社会」・「環境」の三側面における新しい価値創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域を内閣府が選定するものです。
内閣府の公募に対して、湖南省は『さりげない支えあいのまちづくり こなんSDGs未来都市の実現【シュタットベルケ構想】』を提案し、令和2年7月17日、「SDGs未来都市」に県内市町で初めて選定されました。

SDGs×

環境



自治体地域新電力会社のこなんウルトラパワー株式会社を核とした官民連携により、効率的・戦略的な公共施設の維持管理、設備更新を図っていくことで、公共サービスの維持かつ機能向上、地域住民の利便性向上を実現しながらコストの縮減と脱炭素化を両立、指定管理者等と連携した公共施設運営、水道事業やバス事業等の効率的な経営の検討を行います。



SDGs×

教育



市内外での地域資源を活用した取組について、学校教育や生涯学習など様々な場において周知を図り、市民や事業者が自分の周りに存在する自然エネルギー等地域資源の価値や地域で取り組むことの意義に気づき、主体的な活動を促すことができるよう湖南省発の「SDGs×地域資源教育」を推進します。市内中学生、高校生へのSDGs教育をSDGsに取り組む企業と連携し、探究学習講座を行い未来の人材への育成事業を行います。



SDGs×

福祉



農福連携事業では、サツマイモを活用した芋発電を実施し、栽培からエネルギー化またイモ製品等の六次産業化まで多くの人の関わりが可能です。また林福連携事業では、森林資源を活用し、障がい者の連携によるバイオマス燃料安定供給をめざします。これらに取組により、障がいのある人や高齢者が社会活動に参画することが可能となり、農業・林業・福祉・エネルギーのつながりが期待されます。

